

うちなだ 議会だより

Vol.164

令和8年〔2026〕

2月5日 発行



給食センター更新整備の貯金開始 12月会議

…… 2 - 3

委員会レポート

…… 5

下水道災害復旧財源は 災害認定で100%国庫補助
学校給食共同調理場 適切な職場環境を
視察研修 長野県木曽町議会

総務産業建設常任委員会
文教福祉常任委員会
広報対策特別委員会

新！議会広報モニターさんの紹介

…… 7

ありゃ～どうなったがいね～ 川口正己議員・中村聡議員

…… 8

一般質問 8人が登壇

…… 9

街かどインタビュー うちなだ話し相手ボランティア

…… 18

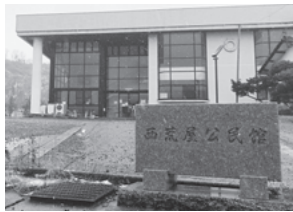


新整備の貯金開始

復旧復興・防災事業

社会教育施設災害復旧費 1億200万円

室・西荒屋公民館の解体工事費
西荒屋公民館の再建に係る、周辺公共施設との一帯整備のための用地造成費及び工事監理費



児童福祉施設災害復旧費 3,200万円

北部保育所の再建に係る、周辺公共施設との一帯整備のための用地造成費及び工事監理費

公営住宅建設費 2,200万円

南部地区の復興公営住宅建設に向けた、着手前に必要となる粗造成などの工事請負費

被災建物解体跡地防草対策 費助成金 150万円

対象：公費解体が完了した跡地に防草シートを設置した方
助成金額：設置費の2分1
(上限75,000円)

地籍調査事業 3億20万円

現況測量及び復元測量委託料
仮設事務所等にかかる費用

下水道事業会計負担金 5,460万円

下水道事業計画変更資料及び
内水ハザードマップ作成のため

建設改良費(下水道事業会計) 4億1,000万円

災害に係る污水管未調査区間の調査を行うため

令和7年12月会議は2日から11日までの10日間開催された。令和7年度補正予算6件、条例9件など計18議案を審議し、全て原案の通り可決した。継続審査となっていた請願第7号「消費税率5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書については不採択とした。

11月会議

請負契約の変更について

工事名：6災4919号
町道大根布6号線道路災害復旧工事

契約金額：変更前 42,583,200円
変更後 83,558,200円

契約相手：株式会社 茶谷組

※大根布6丁目内地内で工事中

指定管理者の指定

・内灘町屋内温水プール

指定管理者…株式会社 エイム
指定期間…令和8年4月1日～
令和13年3月31日

・内灘町体育施設(野球場等)

指定管理者…一般財団法人 内灘町
公共施設管理公社
指定期間…令和8年4月1日～
令和11年3月31日

補正予算
注目事業を
ピックアップ

いよいよ本腰

給食センター更

学校給食共同調理場

学校給食施設改修工事 4,200万円

学校給食共同調理場空調設備設置工事

※詳細はP5

学校給食共同調理場整備基金積立金

5,000万円

建て替えに係る財源の積立を開始

医療・福祉支援金

子ども医療費助成金 1,700万円

心身障害者医療助成金 3,000万円

助成人数の増加によるもの

障害者自立支援給付費

1億6,000万円

サービス利用者の増加によるもの

障害児福祉給付費 3,700万円

サービス利用者の増加によるもの

管理委託料

温浴施設等管理委託料 3,400万円

物価高騰による燃料費・光熱水費等の増加のため（展望温泉ほのぼの湯管理委託料）

サイクリングターミナル管理委託料

2,250万円

物価高騰による光熱水費や賄材料費等の増加のため

条例の改正（主なもの）

・内灘町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
児童福祉法の改正により創設された「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」について、設備及び運営に関する町の基準を定める。

・内灘町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

子ども・子育て支援法の改正に伴い「特定乳児等通園支援事業」の運営に関する町の基準を定める。

※「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」：生後6か月から満3歳未満の未就園児が、月一定時間までの利用可能枠の中で、保護者の就労要件を問わずに柔軟に保育所等を利用できる制度。

・議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告に準じた期末手当支給率の改正
年間支給月数 3・45月→3・50月

石川中央都市圏域消防通信指令事務協議会の設置について

複雑多様化する需要に広域的に対応し、住民の期待と信頼に応える消防サービスの高度化を推進し、消防行財政の合理化と効率化を図る。

11 月会議審議議案と採決状況

議案番号	議案名	議員名	議決結果	福島	中村	土屋	西尾	磯貝	七田	川口	恩道	北川	夷藤	清水	中川	南
議案第74号	請負契約の変更について [6災4919号 町道大根布6号線道路災害復旧工事]		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

12 月会議審議議案と採決状況

議案番号	議案名	議員名	議決結果	福島	中村	土屋	西尾	磯貝	七田	川口	恩道	北川	夷藤	清水	中川	南
議案第75号	令和7年度内灘町一般会計補正予算(第5号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	令和7年度内灘町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	令和7年度内灘町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	令和7年度内灘町介護保険特別会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	令和7年度内灘町水道事業会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	令和7年度内灘町下水道事業会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	内灘町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	内灘町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	内灘町印鑑条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第85号	常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第86号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号	内灘町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	内灘町税条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第89号	内灘町火災予防条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第90号	内灘町屋内温水プールの指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号	内灘町体育施設(野球場等)の指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第92号	石川中央都市圏域消防通信指令事務協議会の設置について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第7号	「消費税率5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書		不採択	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×

○は賛成、×は反対、棄は議場に不在、欠は欠席、除は除斥、－は採決に加わらない

請願の審査

不採択

◎請願者
石川県商工団体連合会 宮田 保廣
○紹介議員 北川 悦子

第7号

「消費税率5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書

討論

賛成討論 北川 悦子

長引く物価高が国民の生活を直撃している。中小企業の倒産も増えている。国は社会保障のためと繰り返し説明しながら、消費税率を引き上げてきたが、医療・介護・年金・教育のどれをとっても、国民の負担は増えるばかりだ。

大企業や富裕層を優遇する不公平な税制度を正せば、消費税を廃止できる分の財源が生まれる。消費税率を引き下げ、一律にすればインボイス制度も不要となる。



議会を傍聴してみませんか?

本会議はどなたでも簡単な手続きで傍聴することができます。
本会議当日、役場3階の議場入口で、傍聴受付票に住所・氏名をご記入ください(席には限りがあります)。
定例月の6月・9月・12月・3月は町政に対する一般質問が行われます。
皆さまの傍聴をお待ちしております!

内灘町議会事務局 076-286-6715

一般質問って?

議員が町の一般事務の執行状況や今後の方針、課題などを質問し、政策的提言をすること。
住みやすい町づくりのために、大切な役目を果たしています。



モーさん

産業・建設常任委員会

下水道災害復旧財源は 災害認定で100%国庫補助

◎恩道正博 ○川口正己 中川 達
北川悦子 土屋克之 福島誠一

12月委員会では、令和7年度一般会計補正予算を含む10議案を審査し、全て原案の通り可決した。
継続審査となっていた請願1件は不採択とした。

問 下水道事業会計災害復旧費の財源の詳細は。

答 災害認定されれば、100%国庫補助事業となる。また、各戸の公共枿までの復旧が事業対象となる。

問 液化化対策実証実験後の総合グラウンドの在り方は。

答 令和5年度に改修しており、今後の活用については、復興の進捗状況に合わせて検討したい。

問 庁舎空調設備更新工事実施設計費について、現在の集中方式ではなく、個別空調方式など効率の良いものを検討すべきだ。

答 どのような方式がよいかを含め、設計の中で検討する。

問 第6次内灘町総合計画について、復興に向け、市街化調整区域の規制を外すために、金沢都市計画区域からの脱退も視野に、計画に盛り込むべきだ。

答 基本構想の土地利用方針の中で「令和6年能登半島地震を受けて、人口流出が懸念される中、市街化調整区域であることの課題の解消が急務である」とし、都市計画区分の見直しを含めて検討することとしている。



液化化対策実証実験（総合グラウンド）

福祉・文教常任委員会

学校給食共同調理場 適切な職場環境を

◎西尾雄次 ○中村 聡 南 守雄
清水文雄 夷藤 満 磯貝幸博

12月委員会では、令和7年度一般会計補正予算を含む9議案を審査し、全て原案の通り可決した。

問 学校給食共同調理場空調設備設置工事について、温度、湿度記録を示せ。

答 文部科学省の基準となる温度25℃を超えた日数は4月から11月の132日中62日、湿度80%を超えた日数は0日。

問 温浴施設等管理費の委託料増額の詳細は。

答 令和元年度決算額を当初予算額の基としており、今年度決算額と比較した場合、入館料等収入減少が約1,600万円、物価高騰による燃料費等の増加、修繕費等で、約1,800万円の支出増加が見込まれるため、3,400万円の増額補正を行う。

問 社会教育施設災害復旧工事の詳細は。

答 西荒屋公民館解体工事に5,000万円、室公民館解体工事に2,000万円、西荒屋公民館用地造成工事に3,000万円を見込んでいる。

問 国民健康保険、後期高齢者医療の仮算定の廃止方針について、1回の納付金額が大きくなると、納付しづらく、滞納が増えることにつながるのでは。

答 県単位での事務の統一化の推進など情勢の変化に基づき、県内自治体で協議を行った結果、やむを得ず仮算定を廃止する方針となった。制度の周知や、これまで以上に細やかな納付相談に努めていく。



働きやすい職場へ

広報対策特別委員会視察研修

令和7年10月29日
長野県木曽町

全国町村議会議長会主催の令和5年度町村議会広報表彰で
奨励賞（言語・文章部門）を受賞した

長野県木曽郡木曽町 を訪問し、

読まれる広報のノウハウ、工夫などについて学びました。



熱く語る大目 富美雄議会広報特別委員長（左・視察時）



真新しい町庁舎（防災機能も充実）を訪れ、
木曽町議会だよりの編集方針やユニークな取
組みなどを伺った。

木曽町議会だよりは、紙面の色使い、縦書き
横書きのレイアウトなどデザインに優れ、非
常に見やすい構成になっている。また、一般
質問のページから二次元バーコードで議会中
継動画へジャンプし、紙面に書ききれない部
分を動画で詳しく知ることができる仕掛けも
あった。

何より、当初予算、補正予算で主な事業の
一つ一つに町民の声が掲載され、町民参加型
の紙面となっている。

今回の視察に感謝し、より見やすく親しみ
やすい紙面づくりに励まなければならないと、
心新たにした。

～木曽町プロフィール～

長野県の南西部に位置する、476.03km²（長野県内
町村では最大面積）、総面積の90%を山林が占める
緑豊かな山間の町。

木曽町役場の標高は774.80mあるんだよ。



ウッチー

どんなに重要な内容でも
読まなければ
意味がない！

読まれる紙面づくりを目指し、行っている
様々な取組みを聞かせていただいた。

「町民目線では読みづらい内容が多かった」
と先輩議員に思いを伝え、大目委員長とともに、
議会だより改革を進めてきたと話すのは
下島 里美副委員長（右・視察時）。

見出し、レイアウト、写真等、細部まで読み
やすさ・伝わりやすさを重視する編集方針で
あり、議員一人一人の高い意識が感じられた。



きそまち議会だより



新 議会広報モニターさんの紹介



えめん 恵免 かなまる 金丸 なかもと 中本 につた 新田 みやした 宮下
まこと 誠さん りいこ 璃依子さん りさ 理彩さん かのん 花音さん ひろや 大弥さん
おおしま 大島 たけうち 竹内 にしだ 西田 ふわ 府坡
こはな 心花さん こうが 豪風さん だいち 大地さん ゆづき 結月さん
(順不同)

令和7年11月12日、内灘高等学校後期生徒会の皆さんに議会広報モニター委嘱状を交付し、議会だよりへの貴重なご意見をいただけるようお願いしてきました。

任期は令和8年3月31日までです。

皆さんどうぞよろしくお願いいたします！



皆さんの声を議会だよりに／

前・議会広報モニターさん ありがとうございました！



半年間、議会広報モニターとしてご協力いただいた、内灘高等学校前期生徒会の皆さんありがとうございました！皆さんの率直なご意見を参考に、「読まれる議会だより」を目指して努めていきます！

ご意見を紹介します

表紙がピンクなので、裏もピンクの方が統一感があると思います。

→162号(R7.8.5発行)より表紙・裏の色を統一いたしました。

キャプションは長すぎると読まないかもです。
→簡潔に分かりやすくを心がけ、努めてまいります。

一般質問の質問、答弁は吹き出しに入ればよい。誰が何を話しているか分からない。

→163号(R7.11.5発行)より質問者・答弁者の文字色と見出しの色を統一いたしました。

審議結果の表は細かくて読むのが嫌になりそう。

→基本的にはすべての議案を掲載しておりますが、議案数が多い場合は、意見が分かれた議案のみ掲載等検討してまいります。

全部カラーだと見づらい人もいいるだろうから、バランスが難しいですね。

→全頁カラーは望ましいことです。限られた中ではありますが、最大限表現できるよう努めてまいります。



追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

小学校グラウンド芝生化を進めよ

小学校は教育の場であるとともに、地域社会の核である。よりのびのびとスポーツを楽しむことができる環境を。

平成20年12月、平成25年12月
川口 正己

答 弁

前向きに検討

施工後の恒常的な維持管理体制が重要だ。先進事例を調査研究し、今後前向きに検討したい。

その後

令和8年2月 現在

平成27年に清湖小、平成29年に西荒屋小、令和7年に鶴ヶ丘小のグラウンド芝生化を実施。今後も計画的に進めていく。



芝生化された鶴ヶ丘小グラウンド

ドッグラン設置を進めよ

ペットを通じた交流は日常的なにぎわいを生み、町の魅力向上につながる。ドッグランを設置せよ。

令和5年6月 中村 聡

答 弁

引き続き調査検討

蓮湖渚公園や総合公園の一角、保健センター前の旧消防本部跡地を候補地として、人と犬が安心して利用できる空間づくりの検討を進めていく。

その後

令和8年2月 現在

令和6年能登半島地震からの復旧・復興を最優先に取り組んでおり、復旧・復興の道すじが見通せたら、改めて検討を進めていく。



待たれるドッグラン



質問と答弁の詳細は町ホームページ→内灘町議会→会議録でご覧ください。

町政も問う

8人が登壇

一般質問 (12月4日)

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の問題点・疑問点・課題などを執行機関に問うものです。



会議録



YouTube

- | | | |
|--|---------|----|
| いとう 実藤 | みつる 満 | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・避難所マニュアルを更新せよ ・中学校の自転車通学について | | |
| しみず 清水 | ふみお 文雄 | 11 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・北部地区土地利用方針の今後は ・コンフォモール内灘・内灘海岸のにぎわい創出について <p>その他1問</p> | | |
| おんどう 恩道 | まさひろ 正博 | 12 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・大根布地区「地域防災センター」のホールに冷房設備の設置を ・河北潟幹線道路の全線供用開始は <p>その他2問</p> | | |
| にしお 西尾 | ゆうじ 雄次 | 13 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地震の教訓を活かしペット防災の町を ・福祉タクシー利用助成の拡充を | | |
| いそがい 磯貝 | ゆきひろ 幸博 | 14 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策の新たな計画策定を急げ ・空き家相談窓口の充実について | | |
| つちや 土屋 | かつゆき 克之 | 15 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり支援拠点の整備を ・防風林倒木の原因などについて <p>その他1問</p> | | |
| ふくしま 福島 | せいいち 誠一 | 16 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・道路の穴 通報システムの導入を ・海岸や駅前トイレの洋式化と暖房便座設置について <p>その他2問</p> | | |
| きたがわ 北川 | えつこ 悦子 | 17 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・関係各課と連携し優しい町政を ・補聴器購入助成制度の創設を <p>その他2問</p> | | |



シュシュ

3歳 ♀

MIX (チワワ×ポメラニアン)

大根布

題字 上野雅子さん

避難所マニュアルを更新せよ

町長 令和8年度以降見直しを進める



いとう 満
夷藤 満

一般質問

【答】 内灘町地域防災計画の見直し作業を進めており、作業終了後の令和8年度以降に運営マニュアルの見直しを進めていく。

【問】 災害時、避難所での聴覚者、耳の聞こえない人への配慮が足りない。平成24年3月に作られた避難所マニュアルを更新する必要がある。



コミュニケーションボードの活用を

【答】 町内の身体障害者手帳を所持している方のうち聴覚障害の方は、令和7年11月末現在で62名。コミュニケーションボードの活用は有効であり、意思疎通を容易に図れるよう、今後備えていく。

【問】 内灘町には耳が聞こえない人はどれだけいるのか。避難所や救急車等にコミュニケーションボードを備え、活用せよ。



利用者の多い冬期スクールバス（南部地区）

中学校の自転車通学

【問】 中学校から比較的距離のある場合は、自転車通学を認めてはどうか。

【答】 保護者にアンケートを実施するなど、意見を要望を確認した上で、中学校と自転車通学の在り方を協議していく。

【問】 駐輪場設置にかかる費用を試算するとどれくらいか。

【答】 南部地区で冬期スクールバスを利用する生徒約160人分の台数を見込み、工事費は約3,700万円。

【問】 コミュニティバスを通学時に使用することはできないか。

【答】 ルートや運行時刻、一般利用者への影響など課題が多く、現時点では難しい。



千鳥おばあちゃん



しみず 清水 ふみお 文雄

北部地区土地利用方針の今後は 地区計画を活用し新たな移住を促進 町長

一般質問



待たれる測量作業

問 第6次総合計画の土地利用政策や都市計画は、第5次計画から変更はないか。北部地域の土地利用の考え方の基本方針、市街化調整区域の課題解消に向けた、今後の見通しを聞く。

答 総合計画の基本構想案では土地利用方針が掲げられている。※市街化調整区域の白帆台地区以北で、新たな居住者の誘

導に向けた住宅系地区の検討を行う。

北部の既存集落の土地利用方針は、市街化調整区域のままで比較的時間がかからず、新たな居住者の誘導ができる地区計画制度を活用したい。宮坂、西荒屋、室地区において、測量作業完了の令和8年度末を目標に、地区計画の策定を支援する。

コンフォモール内灘・内灘海岸のにぎわい創出

問 商業地域としてのコンフォモール内灘のにぎわい創出、観光拠点としての内灘海岸のにぎわい創出を図る考えと展望を聞く。

答 内灘海岸は、本年9月に策定した内灘海岸・放水路回遊空間整備構想で、さらに多くの来訪者でにぎわうエリアとなるよう、海岸拠点として位



海岸一帯のにぎわい創出を

置づけている。具現化に向け、国、県に要望するとともに、港湾区域等の管理者である県との協議を進めている。

コンフォモール内灘も、海岸拠点として位置づけており、内灘海岸と一体的なにぎわいを創出すること、集客の増加につながり、商業系地域としての発展を期待している。

その他の質問

問 コンフォモール内灘の空きスペースを、内灘海岸のビクターセンター的機能としての活用は。

答 借り上げでの活用は、現時点では難しい。

※市街化調整区域

市街化を抑制すべき区域。農地や森林を守ることに重点が置かれ、許可を得た場合を除き、原則として建物を建築することができない。



おんだ まさひろ
恩道 正博

地域防災センターに冷房が必要だ

町長 地区負担に国制度と併せて検討

一般質問

問 能登半島地震では、大根布地域防災センターで地元の大根布や鶴ヶ丘、室地区の被災者が長らく避難生活を送った。防災センターには停電時に備え、LPガスを燃料とした非常用発電機が設置されているが、核となるホールには冷房設備がない。健康に避難生活ができる環境でないことから冷房設備が必要だ。



国の制度を活用できるか

答 令和6年12月に内閣府より避難所に関するガイドラインの改定が示され、「避難者の健康が維持されること」を目標に、避難所の質の向上に向けた取組が必要とされた。ホールのエアコン整備は、これまでの地区の負担を前提としつつ、防災の観点から、国の制度と併せて町として整備が可能か、早急に検討する。

河北潟幹線道路の全線供用開始は

問 河北潟干拓地堤防と干拓地を東西に横切る幹線道路の復旧状況は。また幹線道路の全線供用開始時期は。

答 河北潟堤防は令和8年春頃の本復旧を目指す。内灘から金沢や津幡をつなぐ幹線道路は、堤防の本復旧完了後、一部供用は令和8年秋頃、全線供用は令和9年夏頃を目指す。

問 河北潟幹線道路の県道昇格について問う。

答 令和7年9月の県議会一般質問で、早期の復旧に取り組み、全線供用後には県道昇格を視野に市町と協議を行う旨の答弁があった。この幹線道路は広域的な主要幹線道路で、自動車交通量も増加しており、県道への昇格に向け、引き続き県へ要望や働きかけを行う。



全線供用は令和9年夏頃を目指す

その他の質問

問 完成した河北潟堤防を遊歩道や自転車道に活用できないか。

答 災害復旧工事は原則、原形復旧であり、工事完成後に改めて、国・県へ要望する。

問 大根布小グラウンド横の大根布8丁目側の道路側溝を、蓋付にするなど安全対策が必要だ。

答 現地周辺の地形への影響が考えられることから、調査をしていく。



蓋もなく危険な側溝



にし お ゆう じ
西尾 雄次

地震の教訓を活かしペット防災の町を 町民の理解を得ながら取り組む 町長

一般質問



ペット用防災グッズの一例

問 現在、内灘町は2年前の能登半島地震を経て、その教訓を生かしながら新たな知見と創造力を加味し、ハード・ソフト両面から新しい町づくりに取り組んでいる。

そんな中、今や家族の一員と言っても過言ではないペット防災の施策もまた自治体にとって重要なソフト事業となりつつある。このペット防災に対する町長の見解を問う。

答 近年、自然災害の増加に伴いペットとともに避難生活ができる安心・安全な地域づくりが重要な課題となっている。

今後は、能登半島地震の経験を踏まえ、町民の意識と理解を深めながら、この問題に取り組む必要があると認識している。

まずは、先進事例を参考に講演会を開催するなど、ペット防災への理解と意識の向上に努めたい。

問 令和7年10月から町のコミュニティバス料金を※70歳以上の内灘町民等を対象にして無料化する施策を講じた。

一方、一般的な公共交通機関での移動が困難な方を対象とする外出支援に福祉タクシー利用助成制度がある。これを機会に利用助成制度も拡充し、チケット配布枚数を現行の年間24枚からさらに増やす考えはないか。

福祉タクシー利用助成の拡充を



福祉タクシーチケット

答 県内の助成制度を見ると本町と同じ24枚が最も多い。従って福祉タクシー助成制度の拡充については、令和7年10月から実施している70歳以上の方のコミュニティバスの無料化に伴って、福祉タクシーの利用状況にどのような影響を与えるのかを検証した後に判断したいと考えている。

※70歳以上の内灘町民等を対象にして無料化

町コミュニティバスの利用料金を「70歳以上の内灘町民」と「令和6年能登半島地震で被災され、内灘町に避難し居住されている70歳以上の被災者」を無料化の対象とするもの。

空き家対策の新たな計画策定急げ

住民課担当課長 改めて調査し、改定する



いそがい 磯貝 ゆきひろ 幸博

一般質問

問 内灘町は人口減少と高齢化で空き家増加が懸念され、令和5年調査で総住宅1万3,570戸のうち空き家総数2,530戸、うち賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家720戸。地震後状況が変化し、所有者不明家屋の公費解体も課題だ。再調査を行い、最新情報を基に新たな計画を策定する必要がある。

答 令和5年度に計画改定に向け276件の実態調査を実施したが、令和6年能登半島地震で状況が変化し、空き家数や危険度を把握できていないのが現状。公費解体事業が今年度完了予定であり、解体事業完了後、改めて各地区・町会へ空き家情報提供を依頼し、町にて実態調査を行い、計画を改定する。



公費解体後の調査に期待

空き家相談窓口の充実

問 内灘町の空き家相談窓口は住民課環境管理室に一本化されているが、関係部署が多岐にわたるため、相談者がたらい回しにならぬよう配慮が必要だ。相談者が同じ説明を繰り返さず済むよう、丁寧な記録や情報共有を行い、各課への伝達を円滑にする統一書式の導入を要望する。

答 空き家等に関する相談の総合窓口は住民課環境管理室であり、相続や税関係、空き家バンクなど相談内容に応じて、関係課と情報を共有、連携し対応している。スムーズな情報共有のための、相談内容を取りまとめる統一様式の作成については、他自治体の事例を参考に検討する。



ご相談は住民課環境管理室まで



風車おじいちゃん



つちや かつゆき
土屋 克之

ひきこもり支援拠点の整備を 県の支援拠点との連携を継続 町民福祉部長

一般質問



石川県ひきこもり地域支援センター（Xより）

問 ひきこもり支援については、令和元年6月会議と令和3年3月会議に一般質問している。また最近、議会の可決をもって、令和7年9月17日付で「ひきこもり支援基本法の制定を求める意見書」を、内閣総理大臣を含む関係大臣に送付したところだ。現時点で、ひきこもりの実態や支援を、どのように認識されているか。

答 ひきこもり支援を継続されている方は45名。今後は、これまで以上に相談窓口の周知啓発に努めたい。

問 中能登町のように、地域密着型のひきこもり支援拠点の整備を。

答 金沢市鞍月にある、※石川県ひきこもり地域支援センターとの支援体制を継続する。

問 令和7年の10月1日の朝7時頃、「鶴ヶ丘5丁目県営住宅の1号棟と2号棟の間の通路に、防風林の松の木が倒れている」と相談があった。

そのほかにも松の木は、松ヤニが飛ぶ、松ぼっくりが車にぶつかる、松葉が雨どいに入るなど、対処が難しい。

松の木の倒木の原因と、伐採や剪定などの管理体制を教えてください。

防風林の倒木の原因などについて



林帯管理の徹底を（右：拡大）

答 詳細は不明だが、幹の内部の腐食による。町の林帯管理については、職員が必要に応じて伐採や剪定等を行う。

問 緑台2丁目交差点から白帆台を抜ける、町を見事に横断するメイン道路の街路樹の管理には、特に力を入れてほしい。

答 今後もより一層、適正な維持管理に努める。

※石川県ひきこもり地域支援センター

（金沢市鞍月東2-1-6 石川県こころの健康センター内）
県や市町、学校、民間支援団体などと連携し、役割分担しながら、ひきこもりの方の自立に向けた支援を行う。

問 チャイルドシート購入補助金制度の復活を。また、役場玄関にベビーカーの設置を。

答 チャイルドシート購入助成事業は前向きに検討する。ベビーカーは必要性に応じて検討する。

その他の質問



ふくしま せいいち
福島 誠一

道路の穴 通報システムの導入を

都市整備部長 国の道路緊急ダイヤルで

一般質問

問 道路上の異常を住民や通行人が発見した場合、現状では、電話による通報が中心だが、現地の情報など、言葉だけでは詳細が伝わりにくいケースもある。

答 国土交通省の道路緊急ダイヤル（#9910）は、国道だけではなく、県道や市町村道も含めた全ての道路を対象に通報を24時間受け付け、該当する道路管理者に連絡するシステムで、電話のほかLINEアプリで通報が可能となっている。まずは国の道路緊急ダイヤルを周知し、町独自の通報サービスは調査研究する。



更新待たれる道路

海岸や駅前のトイレ洋式化と暖房便座を

問 町の玄関口である内灘駅前トイレは、多目的トイレともに洋式ではあるが、トイレには暖房便座がない。また、内灘海岸のトイレは和式、併設の多目的トイレは洋式である。外国人を含む観光客に配慮し、公衆トイレの洋式化と暖房便座の整備を求める。

答 内灘駅前トイレは、男性用、女性用、多目的用、いずれにも暖房便座は設置していない。駅前トイレの全ての洋式便器に暖房便座の設置を進める。

内灘海岸のトイレは、多目的用以外、すべて和式。今後は洋式化を計画的に進めるが、冬期間は閉鎖する施設であるため、暖房便座の設置は現段階では考えていない。

問 町内の各公園は指定避難所となっている。防災の観点からも、トイレの洋式化を求める。

答 公園トイレの洋式化は必要に応じて順次実施している。暖房便座の設置は必要性を検討する。

問 町役場庁舎は来客用、防災用にも、トイレの洋式化と暖房便座が必要。

答 修理等のタイミングで、洋式トイレの割合を高め、暖房便座についても検討する。



暖房便座の導入を（内灘駅前）

その他の質問



きたがわ えつこ
北川 悦子

関係各課と連携し優しい町政を 利用者目線で検討する 町長

一般質問



無料パスポートの申請はお済みですか

問 令和7年10月1日より、町コミュニティバス70歳以上無料パスポートが発行されている。実施日前から受付をすれば、混雑の心配はなく、余裕を持って役場やほの湯、公民館で申請ができたのでは。福祉課と連携すれば、1階での受付になったのではないかと、施策実施にあたり関係各課と連携する優しい町政を願う。

答 無料パスポートは、高齢者の外出機会促進による健康維持と、運転免許証自主返納を促すことを目的に実施している。申請受付を同時に開始したのは、制度開始前の利用など混乱やトラブルを防ぐための対応。既存の手続も含め、利用者目線で関係各課と連携できることがないか検討し、進めていく。

問 厚生労働省認知症施策推進総合戦略でも、加齢性難聴は認知症の危険因子と掲載されている。介護予防事業として取り組む自治体もあり、補聴器の普及は、認知症の予防、健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながる。保険者機能強化推進交付金の活用や、難聴高齢者の啓発、早期対応が介護保険保険者努力支援交

補聴器購入助成制度を

付金の評価指標に入り、推進されていることを踏まえ、補聴器購入助成制度を創設せよ。

答 誰にでも起こり得ることであり、助成制度を導入しているのは、全国的には2割程度、石川県内ではどこも実施していない。

今後他市町の制度を参考に調査研究していく。



両耳で35万円。補助を望む。

その他の質問

問 子ども・子育て支援金制度における国保均等割18歳以下全額免除という議論もあるが、実施まで免除せよ。

答 町独自の均等割免除は、毎年多額の費用が必要であり、実施は困難。

問 鶴ヶ丘4丁目から千鳥台へ抜ける狭いトンネルの通行が大変危険。目立つ注意喚起をせよ。

答 夜間や降雨時でも見やすい路面標示などを検討して、歩行者の安全確保を図る。

突撃!

街かどインタビュー

笑顔を引き出す

町の団体シリーズ②9

今回は、うちなだ話し相手ボランティアの皆さんにインタビューしました。
(代表・村田博子さん)
話し相手ボランティアは、いろいろなお話がしたいと思う方の気持ちに寄り添いながら話を聴く、傾聴ボランティアです。現在24人のメンバーが活動しています。



喫茶店にて訪問活動

◆どんな活動をされているのですか。

○月1〜2回、利用者さんのご自宅や指定の場所へ伺い、1時間ほど、気軽に楽しくお話を聴かせていただきます。どなたでも利用できます。お話の

内容を口外することはありません。

◆入会のきっかけは。

○人の役に立つことをしたいと思っていて、募集チラシを見て「これだったらできそう」と思い、すぐに申し込みました。
○以前からこの活動に興味があり、時間が取れるようになったので参加しました。

○体力に自信がない自分でも、相手のお話を聴くことならできそうだと思うのがきっかけです。



メンバーの荒家さん、代表 村田さん、藤田さん(左から)

◆やりがいや、楽しいと感じることは。

○利用者さんに「待っていました」とか「ありがとう」の言葉をいただけることが、モチベーションになっています。

○昔の話を聴かせてもらえたり、自分と違った経験をされた人の話を聴くことが楽しいです。自分の人生の参考になることもあり、日常の過ごし方の刺激にもなりますね。

○研修会や演習で話し合いをするのも、楽しい機会です。

◆ご苦労な点はないですか



講義や演習など勉強に励んでいます

○最初は女性ばかりでしたが、男性会員も増えてきました。苦労なんてありません。

◆町や議会に望むことはありますか。

○町にはいろんなボランティアがあります。興味はあってもどんな活動があるのか知らない人も多いと思うので、「こんなボランティアがあるよ」という広報紙での紹介など、町民に知ってもらえる機会が増えればよいと思います。

◆インタビューでは、温かい語り口と笑いに包まれて、つい時間を忘れて話し込んでしまいました。

○そして、皆さんの笑顔がとても印象的でした。話し相手ボランティアさんとお話を希望する方、傾聴活動に興味のある方は、町社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問い合わせください。

インタビュー

福島誠一

編集後記

令和7年12月会議の夷藤議員一般質問時に議場にはじめて手話通訳士が付きました。能登半島地震から二年が経ちました。公費解体は進み風景が一変してしまいました。一日も早く復興住宅などで安心して住み続けられる暮らしを支援していきたいと思っています。今年馬年。すべてうまくいく年になりますようにと願いながらも日々の地震情報、強風、雷、豪雨とともに情勢も大きく揺れ動いています。世界では、トランプ政権がベネズエラを軍事攻撃し、マドゥロ大統領をニューヨーク市にある拘置所に連行したニュース。国内政治は衆議院議員総選挙からスタートとなりました。

物価高騰対策を1日も早くと願う国民の声、平和を願う声にしっかりと耳を傾けてほしいです。

(委員 北川 悦子)

広報対策特別委員会

委員長	中村 聡
副委員長	土屋 克之
委員	北川 悦子
委員	西尾 雄次
委員	福島 誠一